

ケアマネジャーの皆様へ

在宅療養あんしん病院

を活用しませんか？

いざという時の、病院との連携をスムーズにするためのシステムです。



ここがあんしん！ 「あんしん病院」 活用例

嚥下機能が低下して、時々肺炎を繰り返すタエさん。家ではたびたび体調を崩すことがあり、「あんしん病院」に登録して、日頃からケアマネジャーとかかりつけ医が連携しながらシステムを活用しています。そんなある日、ショートステイ先でこのようなことがありました。



担当ケアマネジャー



ショートステイ利用中の方が、体調不良で計画外の急な退所となりましたが、「あんしん病院」を活用して、施設から入院加療につなげ、療養してもらいました。ショートからの急な退所は受け入れる介護者側の体制が整っていないことも多く、特に体調の悪化がある場合は、代替サービスの調整に翻弄されがちですが、この利用者さんは、「あんしん病院」登録のおかげでスムーズに病院へつながり、早期にしっかりと体調を整えることができました。

登録というバックアップのおかげで、事業所にもあんしんしていただきその後のショートステイの受け入れもスムーズに行えています。

この事例から学ぶ3つのあんしん

- ① 急な変化があっても受け入れ先があって **あんしん**
- ② スムーズな入院対応で重篤化せず **あんしん**
- ③ 手厚いバックアップ体制で事業所も **あんしん**

かんたん 申込方法

- ① チラシで患者さんに説明する
- ② 患者さんに、登録申請書を記載してもらおう（登録希望病院名欄除く）
- ③ 登録希望病院はかかりつけ医と相談して、病院一覧から選んでもらう
- ④ かかりつけ医にサインをもらう（またはゴム印をもらう）
- ⑤ 封筒に入れて機構に送る

申込書セットに入っているもの



チラシ



登録申請書



在宅療養あんしん病院一覧



（郵送用）封筒



京都地域包括ケア推進機構
令和2年1月発行

ケアマネジャーさんの調整に役立つシステムです。ぜひご活用を！